

地域が支える学びやに

6

Dream Power ジョン・レノンスーパーライブ 世界の子どもたちに学校を贈ろう!

過去10回行われてきたドリーム・パワー・コンサートに出演した歌手や俳優、演奏者の数はのべ154人。贈られた学校は世界28か国に107校となりました。

さて、こんなにたくさんさんの学校をどうやって贈ってきたのでしょうか。学校建設の準備は、どの国のどの地域で学校が必要なのかを、詳しく調べることから始まりです。世界の子どもたちを助ける活動をし、子どもたちの現状を調べている国際NGO（非政府組織）「プラン」と連携して、支援は進められます。

学校を贈る場所を決め、校舎を作るだけでは、まだ十分ではありません。教科書や机など勉強に必要なものがなければ、教材や備品を提供します。先生がいなかった



「プラン・ジャパン」提供



パオ小学校

2009年のライブで支援

グアテマラ

グアテマラは中央アメリカにある5か国の中で、字の読み書きができる人の割合がもっとも少ない国です。とくに、ドリーム・パワー・コンサートで贈った学校があるクブルコ郡では、大人になっても2人に1人しか字が読み書きできないといわれています。それは、この地域が山の中の不便な場所にあり、学校が足りないことが原因です。コンサートでは学校を贈るだけでなく、地域の大人たちが学校を運営していただけるように、お手伝いをしました。



（ドリーム・パワー・ジョン・レノン音楽祭事務局・浜田哲朗）